

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 32号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co., Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので宜しく願います）

---

—★ News Topics ★—

- [1. MEC 製品情報] まさに「百花繚乱」のごとし！ QP ディーゼルエンジンポンプシリーズ！
  - [2. MEC 市場情報] QP-3Ti is like ChatGPT !!
  - [3. MEC 営業部発信] 見て・さわって・楽しめる「体験型」工場見学！
  - [4. MEC 四方山話] 4年ぶりの社員旅行 ～幹事役は癖になる?!～
- 

☆☆—————☆☆

MEC 製品情報 : まさに「百花繚乱」のごとし！ QP ディーゼルエンジンポンプシリーズ！

—————☆☆

車も同じで、最近では水素も出てきていますが、その燃料は大きくガソリンとディーゼルに分かれます。

さてどう違うのでしょうか？？

それぞれに長所と短所がありますが QP ポンプラインナップで他社との大きな差別化となっている「ディーゼルエンジンポンプ」についてちょっと書かせていただきます！

**【長所】**

\*ディーゼルエンジンは圧縮着火方式ですので、ガソリンエンジンのように点火装置が無く電気系統のトラブルや故障が

少なく手間がかかりません。

\*一般的に熱効率が良いので燃費性能も良く、軽油はガソリンよりリットル当たり数十円安く販売されているのでランニング

コストが節約できます。

\*高い圧縮に耐えられるように丈夫、頑丈に作られているので耐久力があります。

\*軽油は少量であれば携行缶でなく、ポリタンクで保管できます。（ガソリン、軽油は危険物ですので消防法など法令を遵守下さい）

**【短所】**

\*丈夫、頑丈に作られているので製造コストが高くなりガソリンエンジンと比較して価格は高く、また重量も重い。

\*ガソリンに比べると燃焼時に NOx（窒素酸化物）や PM（粒子状物質）が発生する。（現在は技術進歩により改善されています）

\*振動や音が大きい。

\*リコイルが重い⇒セル/バッテリーが必要

このように一長一短ありますが、皆さん、最近ガソリンスタンドで「ガソリンを携行缶に給油することはお断りします」

というのを目にしませんか？ 平成 25 年福知山花火大会での爆発事故、令和元年京都アニメのガソリン放火事件など、個人の

ガソリン取り扱いが制限されてきていることや、昨今の燃料価格のすさまじい高騰もありディーゼルエンジンの引き合いが、

「じわりじわり」と増えてきているんです。

皆さん、ディーゼルポンプのご用命がありましたら是非是非 MEC=QP ポンプ！を思い出してください！欲しい製品がきっと

あるはずですよ！

なんせ、

①お手頃価格で様々な用途に使用可能な汎用タイプ！・・・・・ 2 インチ=QP-2D、3 インチ=QP-303D

②真垂直に最大 55M~95M！ビルで例えると、おおよそ 20 階~30 階の高所や遠距離への送水が可能です！

・・・・・ 2 インチ=QP-205SLD、3 インチ=QP-305SLD、4 インチ=QP-402SL(X)D、QP-T405SLTD

③毎分 1450L（ドラム缶約 7 本以上）~4200L（ドラム缶約 20 本以上?）の大量の送排水をします！

・・・・・ 4 インチ=QP-402D、6 インチ=QP-602D、QP-60TD

④小石・砂利混じりの茶色の汚泥水も難なくガラガラと吐出します！

・・・・・ 3 インチ=QP-305D、QP-301TD、4 インチ=QP-40TD、6 インチ=QP-60TD

⑤海水・塩水に対応し少しでも長くお使い頂ける工夫をしました！

・・・・・ 2 インチ=QP-205SLD/Marine、3 インチ=QP-303D/Marine、QP-301TD/Marine、4 インチ=QP-402D/Marine

と、まるで「ディーゼルエンジンポンプの百貨店」みたいな品揃えができました！

QP Diesel モデルの全容をご覧ください →

[http://www.qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/diesel-pump\\_lineup.pdf](http://www.qp-pump.com/qp_promo/pdf/diesel-pump_lineup.pdf)

なんと皆さん！これでも全てではないんです！更に、ほとんどのモデルが Yanmar と Kubota 両社のエンジンを選んでいただく

ことが可能です！

まず国内でディーゼルエンジン駆動のポンプを生産しているメーカーはごく限られているうえ、選べるモデルも非常に限定

されますが、MEC では用途、仕事量（送水量）にあわせて、これだけの幅広いラインナップからお選びいただくことが可能

なんです。

丈夫で長持ち、これからは Diesel かもしれません！価格が高いというデメリットに関しては「MEC  
メルマガ見た！」と  
おっしゃってください！  
お値引きがあるかも！？です。

■生産ラインの写真を少しご紹介 →

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/12/DIESEL-PUMP-1.pdf>

(営業部 輪嶋記)

☆☆—————☆☆

MEC 市場情報 : QP-3Ti is like ChatGPT !!

—————☆☆

過去に MEC ニュース NO. 28 で QP ポンプランキングが発表されましたが皆様読んで頂けましたか？  
ここにはないカテゴリーで「インテリ部門」があれば、それは間違いなく「QP-3Ti」が1位です。  
QP ポンプで他を寄せ  
付けない圧倒的な知能は、いま話題のチャット GPT のような存在です。チャット GPT と違うのは世  
間での認知度が低い  
くらいです！と大袈裟ですが、QP-3Ti について話させていただきます。

QP-3Ti はエンジンポンプでありながら、製品に組み込まれた ECU とフロートスイッチを連動させ  
ることで「排水/自動給水  
→停止」というサイクルを自動で繰り返します。  
エンジンの瞬間的な回転数などを監視し制御することで、ポンプ自吸不良、接続不良などを検出し  
て知らせる他、エンジン  
始動失敗でも繰り返し始動をトライするなどの機能も備わっています。この自動制御モードの他  
に、通常のポンプと同様に  
操作できる手動モードもあります。  
チャット GPT のように饒舌ではありませんが、無口でもやることはスマートで頼もしいやつなんで  
す。  
日本では地方自治体で災害時（増水）の自動排水用に、米国ミネソタ州では放牧された牛 1000 頭  
の飲用水の自動給水用に、  
などなど様々なフィールドで活躍する場面が増えてきており、いまでは世界で約 200 台程の販売台  
数です。

■ミネソタ州の使用例 →

[http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/05/3Ti\\_Automatic-water-supply\\_1.pdf](http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2021/05/3Ti_Automatic-water-supply_1.pdf)

そんな QP-3Ti ですが、先日米国で市場クレームが 1 件発生しました。QP-3Ti はエンジン始動失敗後、4 回再始動を繰り返す機能を備えています。

ところが現地ユーザーによると、始動失敗しても再始動してくれないというのです。

実機を現地サービスマンが回収して検証しましたが、再始動の機能は正常に働いており問題は再現せず。問題はないと

判断して実機をユーザーへ戻すも、やはり再始動できない現象が発生。

これには現地サービスマンも含め、我々もいったい何が原因なんだと頭を抱える事態となりました。問題発生状況を動画に収めてじっくり分析することで、制御に問題があるのではなく、どうやらエンジン自体に問題があり

そうだという事がようやく明らかとなりました。

<https://youtu.be/fhJPXLKdgH4>

QP-3Ti は制御機能を持つ優秀なポンプですが、それ故に我々サービスマンも 3Ti 自体を制御する知能がもっと必要だと痛感した出来事でした。

チャット GPT に興味がある皆様、その前にまずは QP-3Ti に興味を持って頂くのはどうでしょうか？  
笑

賢明な QP-3Ti があれば、きっと皆様の困り事を解消してくれるはず？です

■QP-3Ti のカタログはこちら →

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2020/09/WDSHG1405.pdf>

(技術部 眞弓記)

☆☆—————☆☆

MEC 営業部発信：見て・さわって・楽しめる「体験型」工場見学！

—————☆☆

弊社の工場は日本のど真ん中【三重県は多気町】に在り、年間を通して様々なお取引先様が工場見学にいらっしゃいます。

今回はアメリカ (Multiquip 社) へご販売頂いている伊藤忠商事様が、新しいご担当者の勉強という事でいらっしゃいました。

さて、はるばる三重県までお越し頂いたので会議室で座学だけでは面白くない！という事で今回は【体験型】をテーマに

見学をして頂きました。

これから弊社の製品を販売いただくのにやはり “現場で、現実、現物を見てもらい、触れていただきポンプなるものの

原理や原則的な扱い方を体験していただく！”、

云わば“五ゲン主義”に従うマーケティング人材の育成という大げさですが、がっちり1泊2日の短時間ながらの訓練体験となりました。  
具体的には次の3つのメニューが中心です。

【ポンプ分解講座：トラッシュポンプの中身ってどうなってるの？】

Trashとは直訳すると“ごみ・くず・廃棄物”ですが、我々のトラッシュポンプは「砂や砂利 異物が入っている汚泥水取り 扱い専用」のポンプです。  
少々の汚泥水ならパワフルにガラガラ排水出来るうえに、ポンプ内部に簡単にアクセス出来るのでメンテナンス性にも優れています。

【ポンプ体験教室①：ポンプの吸込みパワーってどれほどのもん！？】

当社のポンプは“自吸式”ポンプ、つまり自分で水を吸い込むパワーを生み出しています。このパワーが中々に強く、よくトラブルシューティングでは「ホースを外してポンプの吸込口に手を当てて吸込むか確認」するわけですが、正常なポンプでは手のひらに赤く跡が付くほど吸い込まれる力なんです。

【ポンプ体験教室②：弊社最強の2インチ高圧ポンプ [QP-T205SLT]で放水体験！】

その非常なる高圧力を生み出す秘密はインペラー（羽根車）にあります。  
通常のポンプはインペラーが1枚なのですが、このモデルはなんと2枚（ツインインペラー）装着されています。  
「ツインインペラー」シリーズは、2インチのT205SLTの他、3インチ=T305SLT、4インチ=T405SLTとシリーズ化されており、様々な用途で活躍しています。

特に二つの体験教室が好評で、皆さんの表情から驚きとともに非常に楽しんで頂けた事が分かると思います。

（下記の写真資料をご欄ください）

■実際の写真はこちら！ →

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/12/COMPANY-GUEST2023.pdf>

◆工場見学研修の様子をスナップ写真にて！ →

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/12/FACTORY-TOUR.2023.pdf>

今後も「面白く為になる」をモットーに色々なご見学メニューを考えて行きたいと思っています。  
「工場へ行って体験したい！」「実はこのポンプ触ってみたい！」と言う方は是非、担当の営業スタッフまで！  
工場スタッフ一同、皆様をお待ちしております！

<参考リンク>

米国 Multi Quip 社 : <https://www.multiquip.com/>

QP-T205SLT 製品ページ : <http://www.qp-pump.com/blog/product/qp-t205slt/>

(営業部 中瀬記)

☆☆—————☆☆

MEC 四方山話 : 4年ぶりの社員旅行 ~幹事役は癖になる?!~

—————☆☆

ちょっと前の話しになりますが、6/30 から 1泊で滋賀県へ社員旅行へ。  
幹事の命を仰せつかった総務経理部の西と中山から旅の様子をお届けします。

コロナ禍により 4年ぶりとなった社員旅行、皆の期待感を感じる中、バスで滋賀へ向かいました。

社員旅行といえば観光地巡り。

MEC の社員旅行は、歴史ある場所を行先の一つに組み込むことが恒例となっています。

今回は「比叡山延暦寺（東塔）」を訪ねました。

1200年の歴史と伝統が世界に高い評価を受け、平成6年には世界文化遺産にも登録されています。

私達が訪れた日は生憎の雨でしたが、国宝である根本中堂をじっくり見学。根本中堂は現在 60年ぶり 10年がかりの大改修中で、

この先見ることはないであろう改修風景を目にしたり、ご住職の法話も拝聴、貴重な体験が出来ました。ここで「不滅の法灯」も見る事ができました。

「不滅の法灯」とは最澄が西暦 788年（延暦 7年）に根本中堂の前身である一乗止観院を建立した際に、本尊の薬師瑠璃光如来

の宝前に灯明をかかげたのが始まりで、そこからなんと一度も消えることなく 1000年以上の間輝き続けている灯火です。

これは僧侶が燃料の菜種油を絶やさないように、朝夕 2回毎日菜種油を注ぎ足し続けていることにより保っているものです。

まさに継続は力なり！ 続けることの偉大さを改めて感じました！

比叡山延暦寺の後は琵琶湖の畔「雄琴温泉」へ。琵琶湖を眺めながら浸かれる温泉で 1日目の疲れを癒しました。2日目は、

黒壁スクエアの「体験教室」でサンドブラストを体験したり、レトロな建物の街並みを散策した他、バームクーヘンで有名な

「たねや」のフラッグシップショップ『ラコリーナ』で、こだわりの建物と自然が融合した空間でショッピング♪ と、滋賀で

話題の人気スポットを満喫した 2日間となりました。

■社員旅行の写真 →

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/12/EMPLOYEE-TRAVEL2023.pdf>

---

さて。今回の記事は幹事が担当なので、ここでチョット「幹事の苦労話」を。  
幹事は3月頃から準備をはじめ、就業後等に打合せを重ね準備をすすめます。特に時間を割いたのは「昼食会場の選定」と  
「宴会での催しものを何にするか」です。

#### ■「昼食場所の選定」■

我が社のイベント事で必ず求められるのは「満足のいく食事」。一社員からすれば、普段自分達では味わえない料理を  
いただける?嬉しい機会?になるわけですが、これが「幹事」の立場になると、「大きな悩みの種」  
になるのです。特に昼食!  
こちらの要求に合う昼食を旅程に組み入れるのが至難の業!  
旅行会社さんにもご苦労をおかけする部分です。今回も例にもれず、いくつもの候補を挙げていた  
だき、検討に検討を重ねた  
結果、2日間とも豪華なお食事・リッチな雰囲気を楽しむことができました。

#### ■「宴会の催しもの」■

幹事の仕切りでチーム対抗ゲームを行うのが恒例の夜の「宴会」。勤続年数や部門の垣根を超えて  
親睦を深められるゲームは、  
社員旅行に欠かせないものとなっています。ゲームになると「熱く燃える」我が社の面々、これま  
でに色々なゲームを  
やりつくしている中で、年齢・性別を問わず、品性を保ちつつ、皆が楽しめるゲームとなると、私  
達幹事は非常に頭を悩ませる  
わけです。旅行の1ヶ月前になると、実践しながらに、用意したゲームを皆にバレないように密室で  
シュミレーション。  
「本当に楽しめるものか?」を確認しながら実際に採用するゲームを決めていきます。苦労の甲斐  
あり、当日は画像(資料  
ご参照ください)では伝えきれないほどの盛り上がりとなりました。

と、このように何かと大変な幹事の任務ですが、皆の楽しんでいる様子を目にしたり、社員や添乗  
員さんから嬉しい言葉を  
いただく場面があると、それだけで苦労が報われ、大きな達成感を得られ「幹事を引き受けて良  
かった」と思えるから  
不思議です。

今回の幹事は西と中山、技術部の眞弓の3名で務めました。幹事役を通して生まれたチームワーク  
を、今後の業務にも生かして  
いきたいと思えます。

(総務経理部 西 & 中山記)

では、今日はここまで！！

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。  
また、次回も宜しくお願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。  
(配信停止以外のお問い合わせは、担当営業までお願い致します)

[info@qp-pump.com](mailto:info@qp-pump.com)

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<http://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL : 03-3257-6130

FAX : 03-3257-6129

工 場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

